

授業科目 評価実習

【担当教員名】 能村 友紀		対象学年	3	対象学科	作業
		開講時期	後期	必修選択	必修
		単位数	3	時間数	135
【ディプロマポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
◎	◎	◎	◎	◎	◎
【概要・一般目標：GIO】 臨床場面において、職業人としての適切な態度や行動のもとに、対象者の作業療法評価を実施することができる。 対象者の全体像を把握し、それを記録し報告することができる。					
【学習目標・行動目標：SBO】 1. 職業人として、常識的な態度や行動をとることができる。 2. 対象者や臨床実習指導者と良好な人間関係を築くことができる。 3. 作業療法の評価計画を立案することができる。 4. 作業療法評価を実施することができる。 5. 評価結果から対象者の課題をまとめることができる。 6. 評価結果を記録し、報告することができる。					
回数	授業計画・学習の主題	SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員		
		1～6 1～6 1～6	指導は臨床実習先の臨床実習指導者がおこなう グループワーク・発表		
【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>	
教科書 (必ず購入する書籍)	標準 OT 作業療法臨床実習とケーススタディ 第2版	市川和子	医学書院	2011・4,410円	
参考書					
その他の資料	実習パンフレットを配布				
【評価方法】 知識や技術、態度、実習期間中の成長度、出席状況、提出物 臨床実習指導者の評価・・・60% 実習セミナーでの評価・・・40%			【履修上の留意点】 実習用ウェア・実習靴着用、茶髪・ピアス・無精髭厳禁、提出物の提出期限厳守 当科目を履修するためには、作業療法学科1年次から3年次前期に開講されている すべての必修科目（単位）を修得している必要がある。		